

はじめに

我が国の人口は2009年をピークに減少を続ける中、老年人口は増加をし、2025年には国民の3割が65歳以上になると推計され、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。そして2050年には、1人の若者が1人の高齢者を支えるという厳しい社会が訪れることが予想されています。



龍郷町においては、2045年には生産年齢人口割合45%に対し、高齢化率が40%を超える推計になり、国よりもさらに難しい状況に置かれる見込みになっています。

このような状況を踏まえ、龍郷町では令和3年度から令和5年度までの3年間を計画期間とする「龍郷町高齢者福祉計画」ならびに「第8期介護保険事業計画」を策定しました。「みんなで支え合い、健やかで自分らしい暮らしを選択できるまちづくり」を基本理念と定め、町民がみんなで支え合い、健康の保持増進に努め、自分らしい暮らしを考え、選択し、一人ひとりが尊厳を持ちながら住み続けられるまちづくりを推進していきます。

本計画の上位計画とする「第5次龍郷町総合振興計画」に掲げる施策の大綱のひとつ「健やかで、安心して生活できるくらしづくり」の実現をめざし、町民・地域・事業者・関係者等と連携しながら、「わきゃシマどうくさネット」を柱に地域包括ケア体制の深化を図ってまいります。また、ライフステージに応じた事業の展開による介護予防の強化と、ケアマネジメントの適正化による介護保険サービスの提供に取り組んでまいります。

最後に、本計画の策定にあたってご尽力いただきました策定委員の皆さまをはじめ、関係機関の皆さま、アンケート調査等を通じ多くの貴重な意見をくださった町民の皆さまに、心から厚くお礼を申し上げます。

令和3年3月

龍郷町長 竹田 泰典